

第70回日本ハンドボール選手権大会（男子の部）

戦況用紙

日時 2019年1月30日（水）

場所 山鹿市総合体育館（Aコート）

回戦 2回戦

A 11 大阪体育大学
（学生連盟） ○ 34 $\begin{pmatrix} 16 & - & 12 \\ 18 & - & 10 \end{pmatrix}$ 22 ● 順天堂大学
（千葉県）

戦況	前 半	大体大のスローオフでゲームスタート。先制は順天堂大・古屋のカットイン。その後7mTで2連取する。大体大は瀧のロングシュートで返すも順天堂大・峰岸の3連続得点で5対1とリードする。10分過ぎ、7対2と順天堂大リードの場面で大体大がタイムアウトを取り、その後2連取する。大体大は0:6から3:2:1ディフェンスシステムに変更すると機能し始め、高橋のパスカットからの速攻などで、7連続得点で一気に逆転に成功する。順天堂大は前半終了前に峰岸のサイドシュートが決まり、16対12と大体大がリードして前半を終了した。
	後 半	後半に入っても、順天堂大は大体大の3:2:1ディフェンスを崩すことができない。大体大は湯浅のサイドシュート、速攻、原田のロングシュートなどで6連続得点を挙げ、完全にゲームを支配する。順天堂大は、タイムアウトを取り流れを変えようとするが、大体大のディフェンスを突破することができず、古屋のランニングシュート、峰岸の速攻など、単発気味の得点にとどまり、34対22で大体大が勝利を掴んだ。

記入者

平井 昌徳